

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
		○		

事務事業No 212 事業名 身体障害児者災害備蓄事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		民生費	
	項		社会福祉費	
	目		身体障害者福祉費	
	大事業		身体障害者福祉事業	
事項		身体障害児者災害備蓄事業		

「3つのキーワード」との関連性

いのちを守る	人と文化を育てる	ふるさと力を高める	該当せず
○			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	災害時の障害児者の利便性の向上を図る。	災害時にストマ器具等を購入市役所東庁舎1階の倉庫及び河北コミュニティセンターに災害時に福祉用具を備蓄する。また、使用期限の確認を行い、新しいものを補充する。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		蓄便袋：60袋 蓄尿袋：60袋（但し有効期間2年）軽合金白杖（折りたたみ）6本 紙おむつM60枚 L54枚 拭拭料400m 160本	軽合金白杖（折りたたみ）10本 紙おむつM60枚 L54枚 拭拭料400m 15本	蓄便袋：13箱 蓄尿袋：15箱 軽合金白杖（折りたたみ）6本 紙おむつM、L枚各3袋 拭拭料400m60本	蓄便袋：13箱 蓄尿袋：15箱 軽合金白杖（折りたたみ）6本 紙おむつM、L枚各3袋 拭拭料400m60本	蓄便袋：13箱 蓄尿袋：15箱 軽合金白杖（折りたたみ）6本 紙おむつM、L枚各3袋 拭拭料400m60本

2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	188	188	188	33	188	188	188	15	188	
伸び率 (%)	-	-	0.0%		0.0%		0.0%		0.0%	
人件費	常勤職員	0	0	2,109	2,353	2,312	2,312	2,491	2,491	2,491
	非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	2,109	2,353	2,312	2,312	2,491	2,491	2,491
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源（税等）	188	188	188	33	188	188	188	15	188	
所要人数	常勤職員	0.31	0	0	0.28	0.31	0.31	0.31	0.34	0.34
	非常勤職員		0	0	0	0	0	0	0	0
主な予算内訳	消耗品費									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
活動指標	ストマ器具（ぼうこう用）の備蓄数（人分）	年度目標値						20	20	20
		実績値						20	21	
	単位	個所	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度					
							100.0%	105.0%		
成果指標	ストマ器具（小腸・直腸用）の備蓄数（人分）	年度目標値						50	80	80
		実績値						50	80	
	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度						
						100.0%	100.0%			
成果指標	ストマ器具等利用者人口の約20%の人数分を3日分備蓄することを目標とする。（人分）（H21～H23年度600人×20%=120人）（H24年度655人×20%=131人）（H25年度660人×20%=132人）	年度目標値				120	120	120	131	132
		実績値				120	108	100	139	
	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度						
				100.0%	90.0%	83.3%	106.1%	0.0%		
単位	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度							

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>備蓄量については概ね目標量に近づいているので、耐用年数を経過したストマの入れ替えのみで現状維持できるようにしコストは削減し、対象者数の増加分に対応して現状を維持できるようにしていきたい。</p>
<p>「見直し」 「改善」案</p> <p>※上記、「今後の方向性」において、「事業内容」、「コスト投入」の方向性が共に「<u>現状維持</u>」以外の場合は記載</p>	